

平成25年度公益財団法人栃木県農業振興公社事業報告書

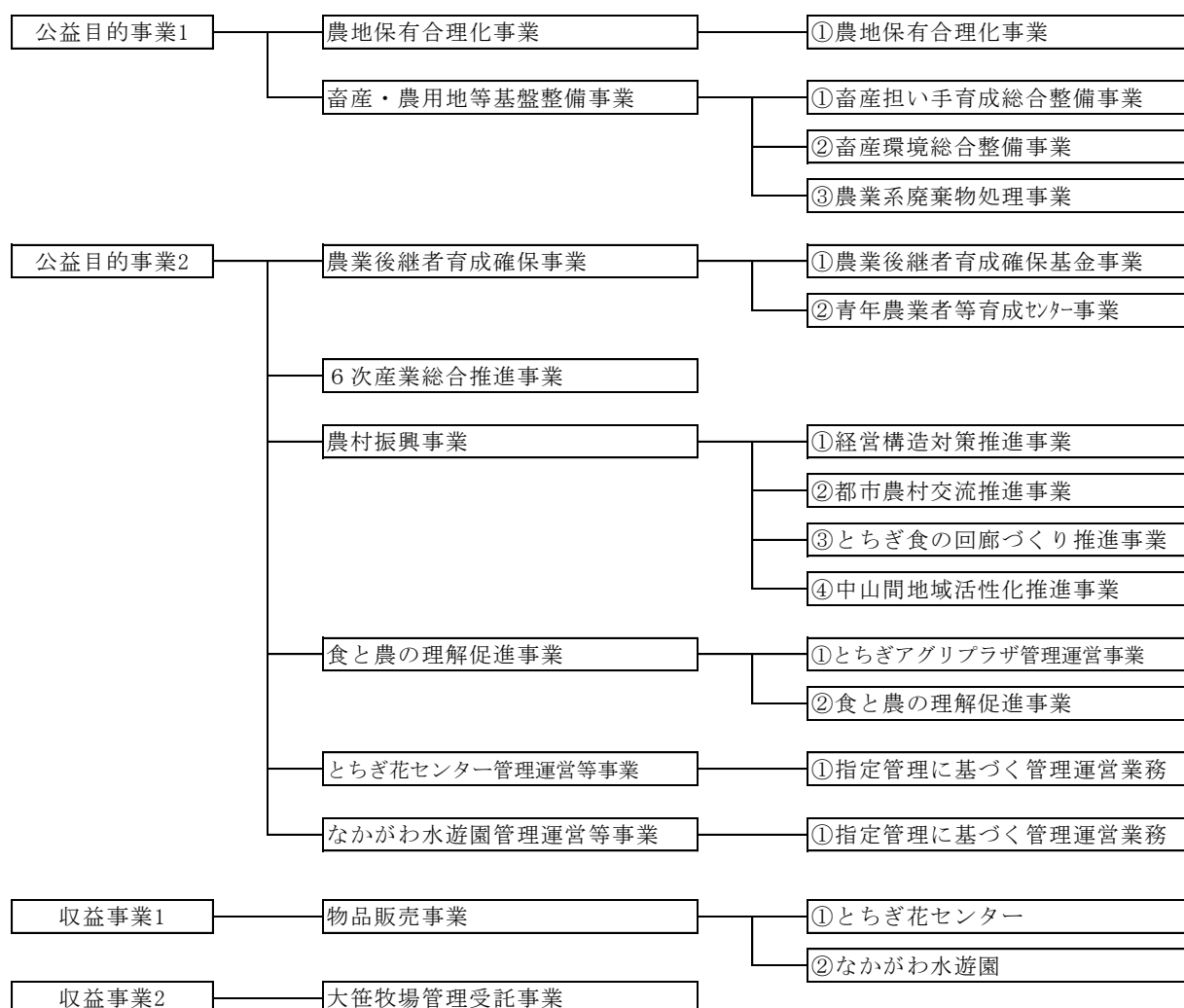
農業の発展と農村地域の振興を図るため、公益財団法人としての役割を発揮し、国及び県等関係機関・団体との連携を図りながら事業を実施した。

特に、農業・農村を巡る環境が大きく変化する中、農業が魅力のある産業として持続的に発展していくために、公社に蓄積されたノウハウやネットワーク機能などの強みを生かしながら、平成23年7月に策定した「公社戦略ビジョン」に即して農地保有合理化事業を始めとする8つの事業を実施した。

また、公社の運営に当たっては、公益財団法人として、公益性を確保しつつ事業の円滑な実施及び経営基盤の強化に取り組んだ。

さらに、指定管理者として管理運営を行っている「とちぎ花センター」については、平成26年度から平成30年度までの5カ年間、「栃木県なかがわ水遊園」については平成26年度から平成35年度までの10カ年間、前回に引き続き、県から公社が指定管理者としての指定を受けたところである。

平成25年度事業体系



I 農地保有合理化等事業

認定農業者等への計画的な農用地の利用集積、農用地等の有効活用等を図るため、県、市町、市町農業委員会、市町農地利用集積円滑化団体等との連携の下に、社会・経済情勢の変化や農用地移動の動向等に即しつつ、農地保有合理化事業及び農地流動化関連対策事業を実施した。

1 農地保有合理化事業

(1) 農地売買等事業

規模縮小を志向する農家等から農用地を買入れ、又は借入れ、規模拡大を志向する認定農業者等に売渡し、又は貸付けることを通して、農用地の利用集積を促進する農地売買等事業を実施した。

ア 売 買 (買入)

事業名	件数	面積 (ha)	金額 (千円)	備考
農地保有合理化促進事業(担い手支援タイプ)	151	99.1	632,403	
公社営農地保有合理化促進事業	63	24.0	147,911	
計	214	123.1	780,314	

イ 売 買 (売渡)

事業名	件数	面積 (ha)	金額 (千円)	備考
農地保有合理化促進事業(担い手支援タイプ)	147	94.0	625,971	
公社営農地保有合理化促進事業	47	17.0	103,298	
計	194	111.0	729,269	

ウ 貸 借 (借入)

事業名	件数	面積 (ha)	金額 (千円)	備考
農地保有合理化促進事業(担い手支援タイプ)	2	0.3	32	
一括前払	0	0	0	
年払	2	0.3	32	
公社営農地保有合理化促進事業	0	0	0	
年払	0	0	0	
計	2	0.3	32	

エ 貸 借 (貸付)

事業名	件数	面積 (ha)	金額 (千円)	備考
農地保有合理化促進事業 (担い手支援タイプ)	2	0.3	32	
一括前払	0	0	0	
年払	2	0.3	32	
公社営農地保有合理化促進事業	0	0	0	
年払	0	0	0	
計	2	0.3	32	

(2) 農用地利用集積連携事業

各市町農地利用集積円滑化団体等との連携強化による農地流動化の一層の促進を図るため、農地利用集積円滑化団体連携会議を開催した。

会議	開催日	場所	内容
農地利用集積円滑化 団体連携会議	H25.9.3	宇都宮市	<ul style="list-style-type: none"> ・農地集積関連施策について ・円滑化事業の取り組み状況と課題について ・研修会「成年後見人制度の概要について」他

Ⅱ 畜産・農用地等基盤整備事業

生産性の高い畜産経営の確立を図るため、県・市町等の関係機関や農業団体と連携し、生産基盤の整備や環境整備等に関する次の事業を実施した。

【畜産関係基盤整備事業の総括表】

事業名	地区名	事業期間	H25事業実績			備考
			施工場所	事業参加者	H25事業費 (千円)	
畜産担い手育成 総合整備事業	那須北Ⅱ	H21～H26	那須塩原市	延4名	409,743	
	那須北Ⅲ	H21～H26	大田原市 那須塩原市 那須町	延7名	105,949	
	日光高原	H25～H28	日光市	延2名	35,246	
	3地区		計		550,938	
畜産環境総合 整備補助事業	栃木北西	H22～H26	鹿沼市 那須塩原市 塩谷町 那須町	延7組織	238,768	
農業系汚染廃棄 物処理事業		H23～H26	日光市 矢板市 鹿沼市 塩谷町 那須町	延10組織	213,569	
合計	5地区		合計		1,003,275	

1 畜産担い手育成総合整備事業

畜産産地として今後安定的な発展が見込まれる地域において、生産性の高い経営体群の育成と、これを核とした畜産主産地の再編整備を進めることにより、畜産経営の合理的かつ安定的な発展を積極的に推進するため、草地、畜舎、家畜排せつ物処理施設等の整備事業を実施した。

地区名	予算区分	施工場所	事業参加者	事業費(千円)	主な事業内容
那須北Ⅱ	H24 繰越	那須塩原市	2名	240,673	・牛舎 1棟 ・パーラー 1棟 ・堆肥舎 1棟
	H25	那須塩原市	2名	169,070	・飼料畑造成 0.26ha ・飼料畑整備 7.59ha ・施設用地造成 0.61ha ・牛舎 1棟 ・パーラー 2棟 ・堆肥舎 1棟
那須北Ⅲ	H24 繰越	那須塩原市	1名	72,981	・牛舎 1棟 ・パーラー 1棟 ・乾燥ハウス 1棟 ・堆肥舎 1棟
		那須町	1名	14,977	・施設用地造成 0.10ha
	H25	大田原市	1名	2,763	・草地整備 1.50ha
		那須塩原市	1名	5,213	・飼料畑造成 0.80ha
		那須町	3名	10,015	・草地造成 0.59ha ・飼料畑造成 1.45ha ・草地整備 0.45ha ・施設用地造成 0.20ha ・牛舎 2棟
日光高原	H25	日光市	2名	35,246	・草地整備 [4.57]ha ・施設用地造成 [1.20]ha ・牛舎 [2]棟
合計	H24 繰越		延4名	328,631	
	H25		延9名	222,307	
	計		延13名	550,938	

[] 次年度へ繰越し

2 畜産環境総合整備補助事業

将来にわたり畜産主産地としての発展が期待される地域において、総合的な畜産経営の環境整備を行い、家畜排せつ物等の地域資源のリサイクルシステムを構築することにより、畜産経営に起因する環境汚染の防止と畜産経営の合理化を図る事業を実施した。

地区名	予算区分	施工場所	事業参加者	事業費(千円)	主な事業内容
栃木北西	H24 繰越	鹿沼市 塩谷町 那須町	2 市町・県	1 2 2, 2 9 9	・ 隔障物整備 8,355 m ・ 牛舎 1 棟
	H25	鹿沼市 那須塩原市 塩谷町 那須町	3 市町・県	1 1 6, 4 6 9	・ 草地整備 2.00 ha ・ 隔障物整備 4,966 m ・ 堆肥舎 1 棟 ・ 施設等用地造成 1 式
合計			延 7 組織	2 3 8, 7 6 8	

3 農業系廃棄物処理事業

東京電力福島第一原子力発電所の事故により放射能に汚染された牧場等の草地の除染及び除染等で発生した指定廃棄物の一時保管に係る業務を受託した。

予算区分	施工場所	事業参加者	事業費(千円)	主な事業内容
H25	日光市 矢板市 鹿沼市 塩谷町 那須町	県 5 市町	2 1 3, 5 6 9	・ 公共牧場等永年生牧草地除染 245.00ha ・ 指定廃棄物一時保管設計・監理 5 ヵ所 (2 市町)

Ⅲ 農業後継者育成確保事業

次代を担う優れた青年農業者の育成・確保を図るため、県及び関係機関・団体等との連携のもとに、農業後継者育成確保基金事業及び青年農業者等育成センター事業を実施した。

1 農業後継者育成確保基金事業

県・市町・農業団体・農業者等の協力で造成された農業後継者育成基金の運用益及び基金の一部取崩し、並びに県からの助成金により青年農業者の育成等を図るため、次に掲げる事業を実施した。

(1) 国際化サポート事業

就農希望の青少年や青年農業者を対象に、国際化に対応できる経営感覚に優れた農業者の育成を図るため、次の事業を実施した。

ア 農業学生海外研修支援事業

期 日 (期 間)	研 修 先	事 業 内 容
H25.7.7～19 (13日間)	ニュージーランド	栃木県農業学校クラブ連盟主催 「ニュージーランド派遣農業研修」7名助成

イ 海外長期研修支援事業

期 間	研 修 先	参 加 者	事 業 内 容
18ヶ月 13ヶ月	アメリカ デンマーク	さくら市 軽部 大地 那須町 小幡 玲奈	海外における農業経営、技術等の研修 (渡航前講習等を含む)

ウ 海外短期派遣研修事業

期 間	研 修 先	参 加 者	事 業 内 容
H25.9.23 ～10.2 (10日間)	イタリア オランダ フランス	県公社派遣農業青年 14名 役員 2名 計16名	水稻・園芸・酪農の大規模経営視察、自治体視察、アールスメール花き市場、後継者との意見交換、スローフード研修 他

(2) 担い手チャレンジ支援事業

青年農業者等を対象に、農業及び農家生活等に関する知識、技術の向上を図るため、次の事業を実施した。

ア 経営発展活動支援事業

実 施 者	事 業 内 容
矢板市 渡邊 達哉 外3名 計4名	畦畔管理植物による省力・低コスト管理技術の実証 外3課題

(3) 組織活動サポート事業

青年農業者の仲間づくりや自己研鑽を図るため、自主的な組織活動を支援した。

ア 組織活動支援事業

実施団体	事業内容
栃木県青少年クラブ協議会 外1団体	集団活動の促進、仲間づくり活動の活性化、青年農業者の資質向上

イ 青年農業者地域貢献支援事業

実施団体	事業内容
佐野市青少年クラブ協議会 外 9組織 計10組織	梨狩り体験を通じた消費者との交流と地域農業の理解促進活動外9組織による地域貢献事業

ウ 全国技術交流派遣事業

期日	場所	参加者	事業内容
H25 10.25 ～26	茨城県 (茨城県庁)	青年農業者 22名 農業公社 2名 計 24名	平成25年度関東ブロック農村青少年クラブプロジェクト実績発表会への参加による県外青年農業者との交流
H26 3.10 ～11	東京都(国立オリンピック記念青少年総合センター)	青年農業者 7名 農業公社 2名 計 9名	第53回全国青年農業者会議への参加による県外青年農業者との交流(プロジェクト活動発表・交流会他)

(4) いきいき農業・農村情報発信事業

青年農業者が自信と誇りを持って農業に取り組むことができるよう、青年農業者が行う農業・農村の理解促進のための活動を支援した。

ア 青年農業者と消費者の交流促進事業

期日	場所	実施団体	事業内容
H25.9.26	宇都宮市	栃木県青少年クラブ協議会	フレッシュファーマーズマルシェ 来場者：2,500名

2 青年農業者等育成センター事業

農業従事者の減少・高齢化が進行している中、次代の本県農業を担う新規就農者の確保が急務となっている。この様な課題を解決するため、新規就農希望者に対し就農促進啓発や就農相談活動等を実施した。

(1) 就農支援事業

本県農業の担い手となる幅広い就農希望者を対象に、就農促進啓発や就農相談会等を実施するとともに、就農支援情報（農地情報等）の収集、蓄積、情報提供を行い、就農促進を図った。

ア 就農促進啓発事業

① 就農相談活動等

期 日	事 業 内 容
H 2 5. 4～ H 2 6. 3	新規参入希望者等に対する就農相談活動、就農に関する情報収集・提供 相談件数 38件
H 2 5. 5. 26 7. 7 9. 29 12. 1 H 2 6. 2. 16	新規就農相談会 in とちぎ (宇都宮市) の開催 (開催回数 5回) 相談件数 85件
H 2 5. 10. 26	新規就農相談会 in 品川 (ハローワーク品川) の開催 相談件数 11件
H 2 6. 2. 18	雇用情勢の低迷に伴い、県労働政策課と連携したとちぎ再就職支援合同面接会 (宇都宮市) での就農相談コーナーの設置等 相談件数 1件
H 2 5. 7. 20 8. 3 9. 14 10. 26 H 2 6. 2. 2	新・農業人フェア (東京都池袋・大阪市) での就農相談ブースの出展 出展回数 5回 相談件数 168件
H 2 5. 9. 8 H 2 6. 1. 19	ふるさと回帰フェア (東京都) JOIN 移住・交流イベント 2013 (東京都) 就農相談ブースの出展 相談件数 13件
H 2 5. 8. 20	新規参入フォーラム in とちぎ 2013 (宇都宮) の開催 参加人数 114人
H 2 5. 12. 14	新規参入現地セミナー in とちぎ 2013 (県内) の開催 参加人数 21人
計	就農相談件数 339件 (対前年比 119%)

② 就農促進啓発活動

事 業 名	事 業 内 容
就農啓発促進資料の作成・配布	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業への就農関連情報提供による就農啓発 (情報提供企業120社) ・ 「とちぎで農業はじめよう」がトブックの作成・配布による就農啓発 (作成部数 500部) ・ 新規参入事例集の作成、配布による就農啓発 (作成部数 1,000部) ・ ホームページ作成、更新による就農啓発 (12回更新)
新規参入・就農支援活動の広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞広告掲載による就農啓発 (掲載回数8回) ・ 就農相談会開催チラシの作成・配布

イ 就農サポート事業

事 業 名	事 業 内 容
就農情報バンク	就農支援情報の整備件数 39件 (うち、H25新規情報4件)

IV 6次産業総合推進事業

農業者が農業・農村に存在する豊かな「地域資源」を活用し、農業者による生産・加工・販売の一体化による6次産業（1次産業×2次産業×3次産業）の創出と農商工連携による地域ビジネスの創出を促し、農村の活性化を図る取組を支援した。

1 フードバレーとちぎ農商工ファンド事業

事業区分	事業内容
1 販路開拓の支援	新商品等の販路拡大の取組を推進するため、商談会等の出展を支援した。 ・アグリーフード [®] EXP02013に出展（8月22～23日）、出展者数：2
2 研究会の開催	注目される農産物をテーマに農商工連携を推進するための研究会を開催した。 ・いちご需要拡大プロジェクト ① 術革新プロジェクト：2回、②観光連携プロジェクト：1回
3 若手起業者の育成	農商工連携を推進するため、若手起業者を対象に先進地事例研修会を開催した。 ・開催日：10月21日、参加者：25名

2 6次産業総合推進事業

事業区分	事業内容
1 プランナーの設置	6次産業化を目指す農業者を対象にプランナーを派遣し、生産から商品開発、事業化まで一貫して指導を行った。 ・プランナー派遣延回数：94回、国の6次産業総合化事業計画認定：8件
2 6次産業化への取組支援	農業経営の多角化や地域の産業連携等を支援する相談窓口（栃木6次産業化サポートセンター）を設置した。 ・設置日：4月17日、設置場所：（公財）栃木県農業振興公社内 ・相談件数：120件、プランナー派遣事業者件数：50件 ・情報発信：PR資料作成（サポートセンター活用ガイド、総合化事業計画認定事例集）
3 6次産業化実践塾の開設	若手の農業者を対象に新たな農業を創造できる人材を育成するため、とちぎ6次産業化実践塾を開講した。 ・6次産業化実践塾：6回（開講日9月19日）、受講者：延べ101名

〈参考〉平成25年度「国の6次産業化総合化事業計画」認定状況

No.	事業申請者	事業内容
1	金田 正	「完熟にっこり梨」を使った地サイダー・あめの新商品開発と製造・販売
2	横尾 武男	自家生産した安全、安心な和牛の直売
3	発田 亮	ブルーベリー観光体験農園での摘み取り販売及びジャムの製造販売
4	大野果樹農園	和なしと人参を使用した漬けたれ、ドレッシングの加工食品開発
5	ブルーベリーファーム（有）	風味豊かなこだわりのハーブ・タラゴンドレッシングを開発・生産・販売
6	ラファーム(株)	焼き鳥のたれとなるすりおろしニンニクの加工販売
7	旬ECO山本	「香り黒米もちのレトルト商品」と「焼芋パウダー」の開発・加工・販売
8	そばの里まぎの	「そば黒豆ブレンド茶」「そば焼酎」の開発・加工・販売

※認定件数：平成23年度5件、平成24年度10件、合計23件

V 農村振興事業

農村地域の活性化を図るため、経営構造対策事業等を実施した市町等に対し、事業実施後の点検や評価、施設の有効利用に向けた適切な運営の指導、助言を行ったほか、農業の多面的な機能等を理解してもらうための各種コンクールの開催や地域活性化に意欲的な組織活動を支援した。

また、農村地域が持つ自然環境や伝統文化（食・行事等）、多彩な農産物などの豊かな資源を活かしながら、創意と工夫による都市と農村の交流、食の回廊づくり、中山間地域における農地保全活動等、魅力と活力のある農業・農村づくりを支援した。

1 経営構造対策推進事業

(1) 経営構造対策推進事業

経営構造対策事業等の円滑かつ効果的な推進を図るため、指導・助言体制の整備、情報の収集と提供、事業の点検評価及び効果発現に向けた改善方策等の支援を行った。

事業区分	事業内容
1 経営構造コンダクターの設置	農業経営、流通、加工、交流等の専門家を経営構造コンダクター及びアドバイザーとして設置し、派遣指導を行った。 ・派遣回数：3回、コンダクター(常勤)3名、アドバイザー(非常勤)13名
2 推進会議の開催	指導推進会議を開催し、活動方針の作成や課題の検討を行った。 ・指導推進会議：5回
3 情報の収集・提供	「とちぎ発元気農業」の発行及び事業推進に必要な各種情報の収集・提供を行った。 ・情報誌発行：2回
4 経営分析指導	事業により整備した諸施設の運営等実態把握及び指導助言を行った。 ・地区数：5地区
5 研修会の開催	事業で整備した施設の事業効果の向上を図るため、農業農村活性化研修会を開催した。 ・開催日：11月14日 ・場所：道の駅宇都宮ろまんちっく村、参加者：31名

(2) 農業農村活性化事業

農業農村の活性化を図るため、農村地域の持つ多面的機能について、児童、生徒の理解と関心を高めるため、各種コンクールを開催した。

事業区分	事業内容
1 地域活性化の取組支援	地域農業振興アドバイザーを派遣し農村の活性化を図った。 ・派遣数：1件
2 農業農村への理解促進	農業農村児童画コンクール及び美しいとちぎのむら写真コンテストを開催し、農業農村への理解促進を図った。 ・応募点数：児童画 1,182点、写真 159点

2 都市農村交流推進事業

都市農村交流施設等活性化推進員を設置し、農村地域の活性化や都市農村交流に大きな役割を果たしている農産物直売所・農村レストラン等が消費者から信頼され、地域活動の拠点として持続的に発展できるための支援を行った。

事業区分	事業内容
1 指導員の設置	農産物直売所等の都市農村交流施設の健全な運営や安全・安心な農産物の提供等の支援活動を行う「都市農村交流施設等活性化推進員」を設置した。 ・指導員（常勤）1名
2 指導活動の内容	① 平成23、24年度に実施した農産物直売所調査の結果並びに本年度に実施した補完調査の結果を取りまとめて、特色ある事例としてパンフレットを作成し紹介した。 ・農産物直売所事例調査結果パンフレット 2,000部作成 ② 農業体験等を行う宿泊施設を備えた都市農村交流施設について調査とりまとめの上、冊子として作成・配布した。 ・「とちぎのふれあい体験の宿」冊子 2,000部作成

3 とちぎ食の回廊づくり推進事業

「とちぎ食の回廊」の魅力向上を図るため、食の街道連絡会及び研修会を開催するとともに、各街道が連携して行うPR活動の支援を行った。

事業区分	事業内容
1 連絡会、研修会の開催	① 街道間の情報交換や連携事業の実施検討を行うため連絡会を開催した。 ・期日：7月9日、場所：アグリプラザ、連絡会参加者：42名 ② 食の回廊の魅力向上及び誘客アップのための研修会を開催した ・期日：2月28日、場所：コンセーレ、連絡会参加者：27名 研修会参加者：65名
2 連携事業の支援	各街道の連携によるPRイベント等の活動に対する支援を行った。 ・連携事業：10回、参加街道：述べ28街道
3 PR標識の設置	那珂川あゆ街道の延伸に伴いPR標識を設置した。 ・設置場所：東電の電柱、設置箇所数：3か所

4 中山間地域活性化推進事業

(1) とちぎ夢大地応援団推進事業

中山間地域の多面的機能の維持保全を図るため、地域住民と都市住民の協働による農地保全活動の推進・支援を行うとともに、次代を担う若い世代に農業・農村の必要性や重要性についての理解促進を図るためのカレッジ活動を実施した。

事業区分	事業内容
1 広報活動の実施	①ボランティア活動の情報を収集し、ホームページや情報誌等を利用して発信した。 ②情報誌「はばたけ夢大地」の作成、配布 ・情報誌発刊：2回 ③夢大地応援団員の募集 ・25年度末応援団員登録者数：227名
2 啓発活動の実施	夢大地応援団受け入れ地区のリーダーや、応援団員を対象に、夢大地セミナーを開催した。 ・期日：11月23～24日、場所：大柿コミュニティセンター、参加者：10名
3 ボランティア活動の実施	ボランティア活動を実施する地区を支援した。 ・新規地区：2地区、自主地区：7地区
4 夢大地応援団カレンダー活動	次世代を担う学生による、農作業体験を交えた農地保全活動を通して、農業農村の必要性や重要性についての理解促進を行った。 ・場所：大田原市須賀川、実施回数：3回、参加者：延べ85名 ・内容：茶摘み、手もみ茶加工、茶畑の草刈り、茶木剪定、紅茶くず物選別等

(2) むらおこしプランナー事業

中山間地域の農地・土地改良施設の保全や地域住民活動の促進を図るため、次世代の地域リーダーとなる人材を育成した。

事業区分	事業内容
研修会の開催	リーダー育成のため研修会を開催した。 ・内容①地域づくりの基礎、②先進事例研修、③ワークショップ実践研修 ・期日：11月23～24日、場所：大柿コミュニティセンター、受講者数：25名

VI 食と農の理解促進事業

多くの県民に対し、食の大切さやその食を支える農の役割を伝えることを目的とし、とちぎアグリプラザを拠点とした食と農に関する各種相談・講座開催・情報提供等を行った。

特に、自主事業である「つなごう！食と農実践講座」（有料講座）では、食と農の理解促進に向けた取組を積極的に行う企業等の協賛を得ながら県民に対し啓発活動を実施した。

また、子どもたちへの食育を推進するため、とちぎ食育応援団を活用した「とちぎっ子食育出前講座」に取り組んだ。

1 とちぎアグリプラザ管理運営事業

食と農の理解促進を総合的に推進するための拠点施設「とちぎアグリプラザ」の管理運営等業務を実施した。

事業区分	事業内容
1 管理運営	とちぎアグリプラザ（県民の利用に供する部分）の管理運営を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・施設や設備の維持管理 ・食と農に関する図書類やとちぎ子どもの食育ライブラリーにある教材の貸出等の管理運営 ・アグリプラザ利用者 12,607名（うち、食と農の交流室利用者 2,381名）
2 アグリプラザを活用した食と農の理解促進	県民が食と農に対し理解を深めるため、食と農に関する相談及び情報の提供等を行った。 ①イベントにおける食と農の理解促進活動とアグリプラザのPR <ul style="list-style-type: none"> ・県庁 de 愛ふれあい直売所出展（4～3月：10回） ・JA全農とちぎパワフルアグリフェア（7月20、21日）出展 ・とちぎアグリプラザまつり開催（11月9日） ②生産者と消費者の交流を目的とした「アグリプラザ農産物直売所（水曜夕市）」の開設 ③地域、市町等で行うイベントの活動支援（食育応援団の派遣） ④食と農関連教材、パネル等の貸出 ⑤農業関係機関・団体や消費者グループ等に対する活動支援（アグリプラザの活用） ※直売所開設回数：計33回

2 食と農の理解促進事業

食の大切さや食を支える農に対する理解の促進を図るため、とちぎアグリプラザを拠点とする講座の開催やとちぎ食育応援団の活動支援並びに活用を促進した。

(1) 食と農の理解促進プロモーション事業

多くの県民に食と農の理解を加速的に広げるため、県との連携の下、食や農に関する知識の習得と併せ、講座で得た知識や情報を地域へ伝える「食と農の伝道者」としての人材育成を目的とする各種講座を開催した。

事業区分	事業内容
「つなごう！食と農実践講座」の開催	とちぎアグリプラザを中心に「食」「農」「地域」「環境」などに関する各種講座（「つなごう！食と農実践講座」）を開催した。 ・開催時期：8～12月、回数：8回、受講者：延べ46名 ① 総合コース 8回 33名受講 ② 選択コースA 6回 4名受講 ③ 選択コースB 6回 9名受講

(2) とちぎ食育応援団活用促進業務

食育推進の担い手として活躍する「とちぎ食育応援団」の募集・登録・管理等を行うとともに、食育実践に向けた活動支援（研修会の開催）や応援団の活用による食育実践の普及に取り組んだ。

事業区分	事業内容
1 応援団員募集、登録、管理等	①食育を推進する担い手として活動する「とちぎ食育応援団」団員の募集、登録、管理等を行った。 ・25年度末応援団員登録数：421名 ②食育応援団募集チラシを作成し、登録者数の増加に寄与した。 ・募集チラシ：3,000部作成
2 情報誌の発行	とちぎ食育応援団の活動と情報交換等を促進するため、「とちぎ食育応援団だより」を発行した。 ・情報誌発行：2回、5,500部
3 研修会の開催	とちぎ食育応援団の活動が県民の食育実践に資するよう、そのノウハウを習得する研修会を開催した。 ・開催回数：1回、参加者：33名
4 とちぎっ子食育出前講座の実施	とちぎ食育応援団の実演・指導により、子どもたちやその保護者等を対象とした食育実践に向けた講座を開催した。 ・回数：23回、指導応援団員数：延53名、講座参加者数：1,277名

3 とちぎアグリプラザまつり開催

とちぎアグリプラザに入居する4団体が連携し、一般県民にとちぎアグリプラザの周知と食と農の理解促進を図ることを目的として、とちぎアグリプラザまつりを開催した。

期 日	事業内容
平成25年11月9日	入居4団体の事業紹介、県内農産物等の展示販売、新たに開発された加工品等の展示販売、食育・地産地消情報の発信、とちぎの食材を活かした料理の提供等 ・来場者 約2,000名

Ⅶ とちぎ花センター管理運営等事業

本県における花の振興と、花とのふれあいによる心豊かな人づくりを目的に、県が岩舟町に設置した「とちぎ花センター」において、指定管理者の指定に基づく管理運営業務及びこれに関する附帯事業など次に掲げる事業を実施した。

1 指定管理者の指定に基づく管理運営業務

(1) 施設管理事業

とちぎ花センター施設の維持管理、鑑賞大温室内植物の育成管理、入館料等の徴収事務等の業務を実施した。

管理建物 16棟 6,392㎡ (内 鑑賞大温室 2,225㎡)
敷地 花壇等 3.0ha

項目	平成25年度の実績
入園者数	313,843名 (計画360,000名)
有料入館者数	26,081名 (計画28,000名)

(2) 生産振興事業

生産温室では、企画展等での展示品種の栽培・育成を実施した。また、県農業試験場と連携し、県で開発した新品種の展示等を通して、県産花きや生産者等の情報発信を行った。また、稀少なハーブ、ペゴニアなどの品種保存を行った

展示温室では、消費者に関心の高い切花と鉢物を計画的に展示し、県内生産者のPRと品種の紹介を実施した。

(3) 普及促進事業

花とのふれあいを通して憩と安らぎの場を提供するため、大花壇の植栽、企画展の開催、園芸教室の実施、フラワーフェスティバル等イベントの開催に取り組んだ。

また、その実施に当たっては、ボランティアとの協働により地域に根ざした運営を行った。

項目	業務内容
鑑賞大温室内の植物展示	熱帯・亜熱帯植物及び砂漠地帯の植物等を常設展示した。
企画展の開催	鑑賞大温室第1企画展示室において年間7回、テーマ別展示を実施した。 ① 5/8～6/9 梅雨を彩るアジサイ展 ② 6/11～7/21 カラフルなカラーリーフプランツ展 ③ 7/23～9/1 不思議な食虫植物展 ④ 9/7～11/17 水辺の植物展 ⑤ 11/19～12/24 シクラメンとポインセチア展 ⑥ 1/2～2/23 早春の花展 ⑦ 2/25～ 洋らん展

大花壇等の植栽	大花壇では年3回のデザイン花壇の植栽を実施した。また、中小花壇では、宿根草など季節に応じた多彩な品目を植栽した。		
	期間	植物	デザイン
	(10/17)～5/12	パンジー・ヒオラ	
	5/20～7/15	マリゴ・ルト・アケラタム	流れ星
	7/22～10/14	ペゴニア・マンホジウム・コリウス	とちはなちゃん
10/21～(5/12)	パンジー・ヒオラ	シャボン玉飛んだ	
園芸教室の開催	<p>身近なテーマによる体験型の園芸教室を開催するとともに、イベント期間中に特別園芸教室等も実施した。</p> <p>・園芸教室 23回 552名参加、特別園芸教室 94回 1,572名参加</p>		
イベントの開催	<p>・5大イベントと妖怪大集合その他のミニイベントを開催した。</p> <p>・今年度から、11月閑散期の誘客対策として、新たなイベント「メープルフェスタ」を開催した。</p> <p>① 5/3～6 春のフラワーフェスティバル</p> <p>② 7/27～28 花センターdeトロピカルナイト</p> <p>③ 10/12～14 秋のフラワーフェスティバル</p> <p>④ 12/14～15.21～23 クリスマスファンタジー</p> <p>⑤ 3/21～3/30 ヒスイカズラと春の花まつり</p> <p>⑥ 8/16～18 妖怪大集合</p> <p>⑦ 11/2～4 メープルフェスタ</p> <p>ミニイベント：こどもの日、バラフェスタ、七夕、ハロウィン、お正月スペシャル・餅つき、ひな祭り等</p>		
フラワーカレッジの開催	<p>花センター友の会「パンジークラブ」会員を募集するとともに、希望会員を対象に2年間の講座「フラワーカレッジ」を開催し、地域で花の普及に活躍できる人材を育成した。</p> <p>・「フラワーカレッジ」受講者 初級講座：13名、上級講座：18名</p>		
県民ボランティアとの協働	<p>①バラ講座修了者でボランティア組織「ローズクラブ」を結成し、会員がセンター内のバラ園の管理や来園者にバラ園の案内や見所などを紹介する活動を行った。</p> <p>②大花壇の植栽ボランティアを募集し、年3回の植栽を行った。</p>		
園芸相談	植物の栽培管理等についての相談に随時対応した。		

2 付帯事業（花き類販売等事業）

会社の自主事業として花き販売所の運営を実施した。

Ⅷ なかがわ水遊園管理運営等事業

那珂川の豊かな水と緑に親しみ、水生生物とふれあう場を提供することにより、その沿川地域の自然と文化についての県民の理解を深めるとともに、都市と農村との交流の促進を図ることを目的に、県が大田原市に設置した「栃木県なかがわ水遊園」において、指定管理者の指定に基づく管理運営業務及びこれに関する附帯事業など次に掲げる事業を実施した。

1 指定管理者の指定に基づく管理運営業務

(1) 施設管理事業

園内各施設の維持管理、植栽管理等の管理業務を実施した。

区 分	施 設 の 内 容 等
建 物	おもしろ魚館（愛称：フィッシュパル） 展示ゾーン：延べ床面積 4,500 m ² ：総水量 約 600 t ：水槽数 48 基 体験交流ゾーン：延べ床面積 1,500 m ² おさかな研究室、味わい工房、創作工房等
公 園	面積：約 25 h a 施設：芝生広場、お魚ふれあいステーション、水の広場、公園サービスステーション等
おもしろ魚館 入館者実績	入 館 者 数：290,015 名（計画 250,000 名） 有料入館者数：199,083 名（計画 170,200 名）

(2) 広報活動事業

本園の展示企画と季節に合わせたイベント開催の情報を、各メディア、行政・教育機関等に配信し、また、集客場所を活用してのPR活動を積極的に展開し、本園への集客力を高めるとともに、那珂川沿川地域の活性化にも努めた。

区 分	事 業 内 容
広報配布物	ポスター・チラシ・リーフレット・ミニカレンダー・体験講座メニュー等の配布
広報媒体	有料活用：新聞・テレビ・ラジオ・旅行雑誌・野立看板 無料活用：ホームページ・メールマガジン・新聞・テレビ・ラジオ・各種雑誌・市町広報誌・大田原市・那珂川町内回覧板
広報活動	県等自治体主催の行事 ①県庁展示コーナー出展（7月、12月、3月） ②県民の日イベント出展（6月） ③とちぎ“食と農”ふれあいフェア（10月・県主催・宇都宮市） ④天狗王国秋まつり開催（10月・大田原市主催） ⑤大田原産業文化祭出展（11月・大田原市主催） その他 ①AtoZ・FIGHT7プロジェクトキャンペーン（3月～12月） ②企画展PR広報活動（6月、11月、2月） ③栃木SCホームゲームPR活動（4月～11月）

(3) 展示活動事業

那珂川に棲息する水生生物を中心に、日本の淡水魚、世界の淡水魚等の展示、飼育を行うとともに、漁具その他標本を収集し、おもしろ魚館展示ゾーンでの展示業務を実施した。

また、夏、冬及び春の企画展をそれぞれ開催した。

項目	細目	事業内容
展示活動事業	展示テーマ 展示生物	「那珂川から世界の川、そしてあこがれの海へ」 那珂川の水生生物、県内の水生生物、日本の希少魚、 熱帯雨林・珊瑚礁の魚等（約300種、約20,000尾）
展示活動事業	企画展	春：(3/5)～5/6「おさかな万博～世界の川からこんにちは」 夏：7/13～9/1「カエルズコレクション～世界のカエル大集合」 冬：11/19～1/19「The透明魚 with LightAcuario2013」 春：3/4～(5/6)「ワイルドハンターズ～狙った獲物は逃さない」
	特別展示	雨特生物（レインボーフィッシュ）展示（6/1～28） とちぎのカエルたち（6/18～7/7） ザリガニグランプリ（7/2～9/29） 変わりガエル登場（8/19～9/6） マミズクラゲ（8/21～9/6） ジャングルかくれんぼ（10/1～31） デンキウナギのイルミネーション（12/1～25） 新年を彩る魚たち（1/1～19） サケの稚魚（1/25～2/16） アマゾン南米蘭展（2/11～3/16）
その他の事業	バックヤード ツアー	水族館内の仕組みや働き等について来館者に説明した。 （学校等団体4,627名、一般963名） 開催：土・日・祝日・夏休み 他
	おもしろ魚教室	解説員による紙芝居、クイズに答えながら水中の生き物について 楽しく学べる教室を開催した。 開催：土・日・祝日
	水辺環境授業 等学校支援	ミヤコタナゴ生息地の保護活動等（8回）、総合学習の時間（10回） や農地・水保全管理支払交付金の事業支援（10回）など県内小 学校や地域の団体等の活動を支援した。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 水中入社式（4/6） ・ ゴールデンウィークスペシャル（4/27～5/6）、GWナイトビュー（5/4、5） ・ 入館者300万人達成キャンペーン、式典（5/7～8/6） ・ 県民の日特別イベント（6/8, 9, 15, 16） ・ FIGHT7キャラクター大集合（6/15） ・ サマースペシャル（7/13～9/1）、サマーナイトビュー（8/17） ・ なかつびーの誕生会（7/15） ・ ナイトアクアリウム（7/19、8/2、8/30） ・ シニア特別月間（9/3～29） ・ ベリーハッピースペシャルコンサート（9/28） ・ ハロウィンカルナバル（10/1～31）ハロウィンナイトビュー（10/12） ・ アマゾン交流事業（10/10～10/15） ・ クリスマスナイトビュー（12/22～23）、サンタの水中散歩（12/1～25） ・ 正月関連イベント（1/1～1/14） ・ 節分イベント、バレンタインイベント（1/25～2/16）

(4) 体験交流事業

子どもから大人までを対象に、魚とふれあい、ふるさと体験のできる多彩な講座により、体験交流事業を実施した。

項目	事業内容	体験者数
おさかな研究室	魚や水生生物等の観察、実験講座 メニュー：水の中の生き物調べ等、メダカの飼い方、魚の飼い方、うろこの観察、身の回りの水を調べ、ミクロの世界をのぞいてみよう、ザリガニとともだちになるう等	6,914名
味わい工房	地域の農産物を活用した調理加工講座 メニュー：アマゾンの魚料理、ソーセージ、かしわもち、草餅、花巻寿司、田舎まんじゅう	4,179名
創作工房	地域に伝わる伝統工芸等講座 メニュー：竹細工、木工細工、石絵、まゆクラフト、フラワーアレンジメント、和紙工芸、絵手紙等	6,795名
お魚ふれあいステーション	魚のつかみどり、釣り講座 メニュー：つかみどり、エサ釣り、五目釣り、ザリガニ釣り、ルアー・フライ釣り	釣り池 12,011名 つかみどり 2,885名
体験受講者数合計		32,784名
その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> ・おさかな試食会（年間4回） ・写生コンクール作品展（9/27～10/23） ・秋の味覚チャレンジラリー（11/4） ・釣り大会（冬：11/30、春：3/15） ・水遊園思い出写真展示会（2/1～22） 	

(5) 地域の活性化事業

なかがわ水遊園事業推進懇談会を核として、地域と連携したイベントの開催、地域が主催するイベントへの参画など、沿川地域の活性化及び都市と農村との交流に寄与できる事業を実施した。なお、博物館相当施設として、水と水生生物との「ふれあい」をはじめとする地域の自然や文化等についての理解促進を図るため、教育機関への情報提供に努めた。

また、学校がキャリア教育として実施している「マイチャレンジ」等の就業体験、大学生による「博物館実習」、教職による「社会体験等研修」を積極的に受け入れることにより、活動の支援を行なった。

項 目	事 業 内 容
地域連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・那珂川あゆ街道魅力アップフェア (5/26) ・大田原市 PR イベント (6/22、23) ・那珂川町 PR イベント (6/29、30) ・那須烏山市 PR イベント (7/6、7) ・那珂川大感謝祭 (9/15) 荒天のため一部中止 ・小砂地区新米まつり (11/13) ・那珂川あゆ街道 PR イベント (11/23) ・羽田ミヤコタナゴ再導入事業 (年間)
学校のキャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校：10校 30名 ・高等学校：2校 5名 ・専門学校：6校 8名 ・大学：5校 8名 ・その他教員等：4校 4名 計 27校 55名

2 附帯事業（ショップ等事業）

栃木県なかがわ水遊園内のミュージアムショップ及び喫茶コーナー等の運営を、公社の自主事業として実施した。地域の新たな特産品である温泉トラフグを活用した新商品「ふくまん」の販売を行った。また、地元店舗の商品を販売する地産地消コーナーを設置した。

参考資料 1 主たる会議等

年月日	内 容
平成25年	
4月17日	栃木6次産業化サポートセンターの設置
4月18日	けんちょう de 愛ふれあい直売所出展 (計10回)
4月25日	事業説明会 (とちぎアグリプラザ)
5月22日	監事による監査 (とちぎアグリプラザ)
5月26日	新規就農相談会 in とちぎ 2013 (全5回)
5月28日	第6回理事会 (とちぎアグリプラザ)
6月 1日	とちぎ夢大地カレッジ活動 (全3回)
6月 7日	農地保有合理化法人関東ブロック会議 (静岡県)
6月14日	第4回評議員会 (とちぎアグリプラザ)
6月18日	(公社)全国農地保有合理化協会理事会・通常総会 (東京都)
6月18日	全国公社営畜産事業推進協議会理事会・通常総会 (東京都)
6月19日	第1回栃木県なかがわ水遊園事業推進懇談会 (なかがわ水遊園)
8月20日	新規参入フォーラム in とちぎ 2013 (宇都宮市)
9月 8日	とちぎ夢大地応援団活動 (全9回)
9月18日	「つなごう食と農実践講座」開講 (全8回)
9月19日	とちぎ6次産業化実践塾開講 (全6回)
10月 2日	とちぎ食育応援団活動力アップセミナー
10月17日	公社営畜産事業現地研修会 (北海道)
～18日	
10月26日	新規就農相談会 in 品川 (ハローワーク品川)
11月 9日	とちぎアグリプラザまつり 2013 (とちぎアグリプラザ)
11月13日	平成25年度栃木県農業担い手躍進大会 (宇都宮市)
12月14日	新規参入現地セミナーin とちぎ 2013 (宇都宮市・茂木町・上三川町)
平成26年	
1月29日	とちぎ6次産業化交流会 (マロニエプラザ)
2月 1日	ふるさと車座トーク ～新規就農者の促進について～
2月17日	第7回理事会 (とちぎアグリプラザ)
2月12日	(公社)全国農地保有合理化協会理事会 (東京都)
2月25日	第2回栃木県なかがわ水遊園事業推進懇談会 (なかがわ水遊園)
2月27日	第5回評議員会 (とちぎアグリプラザ)
3月 4日	(公社)全国農地保有合理化協会総会 (東京都)
3月 6日	指定管理運営に係るとちぎ花センター第三者評価会議 (とちぎ花センター)
3月14日	第8回理事会 (とちぎアグリプラザ)
3月18日	指定管理運営に係る栃木県なかがわ水遊園第三者評価委員会 (なかがわ水遊園)
3月27日	第6回評議員会 (とちぎアグリプラザ)
3月31日	第9回理事会 (決議の省略)

参考資料 2 役員・評議員・職員等調

1 役員

区 分		平成 26 年 3 月 31 日現在(名)	平成 25 年 3 月 31 日現在(名)
理 事	常 勤	2	2
	非 常 勤	8	8
	計	10	10
監 事	2	2	
合 計	12	12	

2 評議員

区 分	平成 26 年 3 月 31 日現在(名)	平成 25 年 3 月 31 日現在(名)
評 議 員	10	10

3 職員

区 分	平成 26 年 3 月 31 日現在(名)			平成 25 年 3 月 31 日現在(名)		
	職員	パート・臨時	計	職員	パート・臨時	計
事 務 局 長	1		1	1		1
総 務 部	5	1	6	6	1	7
担 手 支 援 部	5(1)	1	6(1)	6(1)	2	8(1)
農 政 対 策 部	8(1)	1	9(1)	11(1)	1	12(1)
事 業 部	9(1)	1	10(1)	9(1)	1	10(1)
とちぎ花センター	12	10	22	13	9	22
栃木県なかがわ 水 遊 園	38	5	43	38	5	43
合 計	78(3)	19	97(3)	84(3)	19	103(3)

(注) () 内は県派遣職員で内数